

「海の記念日」お台場マリンフェスティバル 犬山 清史（「川の日」ワークショッ プ事務局）

混んでる！

びっくりしました。レースが終わって駐車場に停めてあるトラックを取りに行こうとお台場海浜公園から一歩足を踏み出すとそこは車の大渋滞。これが休日のお台場か。とりあえず駐車場まで行こうとタクシーを捕まえる。「休みのお台場じゃ仕事になりませんよ」と運転手。「みんな東京以外のナンバーですよ。」確かにそうだって九州のナンバーもあるよ！駐車場周りも車でいっぱい。なんとか車を出してなるべく混んでいる方向と反対に走りながら会場へ戻る。よかった、戻れなかったらどうしようかと本気で考えました。

Sea of Love

Eボート。乗ったことはなくてもその名前は聞いたことがある方が多いと思います。

思いますが、簡単に言うと「誰もが水辺を楽しむことが出来る交流ボート」といったところでしょうか。川や湖で使われることが多いのですが、誰もが気軽に水辺に親しむことの出来るお台場を舞台に「海の記念日」である7月20日にイベントが開催されました。梅雨空の間から時折日が差す中、昨年に引き続き2回目となる今年はEボートを使ったレースの他にカヌー教室&体験試乗会、ウェイクボードのデモンストレーション、ボート・アウトドア用品の展示などレースの参加者以外の方にも楽しめるプログラムが盛りだくさんでした。特にカヌーの体験試乗は大人気だったようでした。お世辞にもきれいとは言えないお台場の海ですが期せずしてカヌーに乗ることが出来た人達にはいい思い出になったのではないのでしょうか。



ロコからインドまで

さてメインイベントのEボートレース。10人1組でボートに乗り、沖合のブイをまわって戻ってくるタイムレースにエントリーしたのはたしか48チーム。途中で急造のチームが出来たり合併したりで最終的に何チームになったのかわかりませんが、お台場の住民から高知県、なんと遠くはインド(!)、女子高生、女子大生から昔女子高生だったの方、臨港消防署の職員までバリエーションに富んだ参加の皆さんでした。まっすぐ進まない、初めて乗ったなどなど練習の時はどうなるかと思いましたが、さすが本番になると力の入り方が違います。迷走?するチームもいくつかありましたが、熱いレースが展開されました。予選2回、準決勝、決勝と進むにつれてレースは白熱し、ハイレベルな戦いとなりました。レース終了後には入賞チームの表彰はもちろん、楽しいネーミングの特別賞も発表され、最後のジャンケン大会ではカヌーがもらえるなど最後まで目の離せないイベントとなりました。

リザルトです。多分来年も開催されると思いますのであなたも参加してみたいかでしょうか？



優勝 勝ちどきマリーナ（浦安）

準優勝 荒川ホルモンMen's

3位 臨港一番星

4位 ビリー&海酔No.1

5位 臨港二番星

6位 Team Minami

7位 Eカップ?ボート

8位 浦安カヌー協会Aチーム

9位 多摩川リバーシップの会





テンプク会

- 1 1 位 ビリー&海酔No.2
浦安カヌー協会Bチーム
- 1 3 位 荒川ホルモンLady's
- 1 4 位 チーム「イワタニリゾー
ト」
浦安カヌー協会女子チ
ーム
- 1 6 位 Team Bamboo Hills
- 1 7 位 寄せ集めチーム
- 1 8 位 沖縄チーム
砂浜愚連隊03
- 2 0 位 瀬戸内海クラブ
-